



■9月7日(日) 10:00~15:00 (於: 函館市地域交流まちづくりセンター※以下「地域交流センター」)

ご多聞に漏れず、私たち《クローバーの会》も潤沢な活動費があるわけではありません。講習会を開催する会場費にも事欠くありさま。そこに耳よりの情報が届きました。地域交流センターで一年に一度開かれる『NPO 法人まつり』です。本来ならば NPO として法人登録している団体が対象なのですが、そこはそれ、さっそく小林と今井で丸藤センター長のもとを訪れて実際にハンドトリートメントを体験していただき「香りの力と掌のぬくもりで一人でも多くの人に元気になってほしい」というクローバーの会設立の趣旨を訴え、センター長、職員の方々が快諾してくれて、参加登録ができませんでした。

当日の参加は 73 団体。私たちは二階の一室を使わせてもらい、アロマオイルを使ったハンドトリートメントとフットトリートメントの体験会場を設ける事が出来ました。



ふたを開けると朝 10 時のオープンから午後 3 時まで、引きも切らずたくさんの方々がブースを訪れ、食事の時間はおろかトイレに行く時間も取れないほど。アロマペンダント、ブローチ、ヒバチップの匂い袋など、わずかなひまを見て作っていったものはすべて完売しました。一方であまりに盛況だったせいで参加された他の団体と交流できなかったのが残念でした。

来てくださった方々は「アロマは知っていたけれど、実際にどんなものか分かった」「高級品というイメージがあって近寄りがたかったけれど、手軽に楽しめるのね」などのご意見をいただきましたが、トリートメントを試した後は、皆さんとてもゆったりした笑顔になって帰られるのが印象的でした。

私が住む千葉県柏市と比べると、函館市では高齢者のボランティア活動が盛んな印象があります。函館市の人口に占める 65 歳以上の高齢化率は 30.2% (全国平均は 25.6%、北海道の平均は 26.7%) となっています。高齢者が高齢者を支える地域の仕組みづくりがいち早く始まっているのかもしれない。



函館新聞が取材して記事にしてくれました。記者さんはハンドトリートメントの体験をされていたよ〜。
何もお話ししていないのに、紹介の一番手で「アロマセラピー体験や…」と書いてくれてうれしい〜！
そういえばとろけそうな表情をしていましたものね (今井)。

発力を入れた。強め、協力できること、協
実行委事務局の水戸部長「力してもらえ
弘副センター長は「普段は「待してほしい」と交流促進に期
顔を合わせる機会が少ない。待っていた。
団体同士が横のつながりを
(山崎大和)





■9月11日（木）13:00～15:00（於：地域交流センター）

9月7日に初めて体験された方が二人、今度は『クローバーの会・講習会』に来てくださいました。アロマオイルの勉強とハンドトリートメントの練習、そして気功による呼吸法などを学びました。こうした《基礎》は繰り返しが大切です。特にハンドトリートメントは講習会のたびごとに繰り返して練習することで身につけてきます。ご自分の周りの方々へお届けできるよう、自宅でも練習しましょう。



■9月13日（土）10:30～16:30（於：函館駅2F 「イカすホール」）

JR 函館駅の吹き抜けになった二階部分には40坪ほどのイベントスペースがあります。今回はそこで『福祉を知ろう、体験しよう』というイベントが開催され、タクティケアやリンパマッサージ、介護食の試食の相談窓口などがブースを構える中に、私たち《クローバーの会》も「アロマの初心者体験」というテーマを掲げて参加しました。

ここも開始早々から終了まで大混雑。お客さんにはずいぶんお待ちいただかなければならないような事態になりました。それでも「体が温まった気がする」「気持ちがあぐったりした」との感想をいただいて、スタッフ一同、疲れが吹き飛ぶ思いがしました。

さらには3～4人の方から「ハンドトリートメントを学びたい」とリクエストがあり、ぜひとも《クローバーの会》に参加して、基礎から身につけていただきたいと願っています。



短期間に二回のイベントを体験した私たちは、アロマハンドトリートメントの必要性をつくづく感じさせられました。これからもスタッフ一同、懸命に研さんを重ねると並行して、一番大切な「思いやる心」「迎える心」を一層育てていきたいと思えます。

ご参加いただいた函館のスタッフの皆さんに心から感謝いたします。

アロマの会 クローバー
今井、小林

